

※教室講座

## 箱根を越えた 「平安鎌倉古道」の謎

講師 古街道研究家 宮田 太郎

箱根にある有名な石畳道「旧東海道」。これは戦国時代にあった暮らしの道を、江戸時代の初めになって徳川家康や二代目以降の将軍の命令で大きくしたものであったようです。平安時代の802年の富士山噴火の火山灰で埋まった足柄峠越えの道に代わって箱根に移った東海道や、鎌倉時代の鎌倉幕府が越えた関西と関東を結ぶ道は、「京鎌倉往還（きょうかまくらおうかん）」といい、その痕跡は、今も芦ノ湖の西側の丘の上から伊豆の三島までの区間や、芦ノ湖から箱根湯本までの区間によく遺されています。特に三島までの区間は、ひっそりとした山の中に、今も深い堀割り状の道が7本も並んで走っている場所も見られ、ダイナミックな軍事街道としての様相が見てとれます。「箱根」を「関西と関東の境目の防衛拠点」としていた古代朝廷や鎌倉幕府が造った、知られざる古道の謎と魅力をご紹介します。（講師記）

■日 時 2018年 5月 26日 1回  
土曜 12:45 ~ 14:45

■受講料 会員 3,510円 一般 4,158円（資料代込）  
※入会金は5,400円、3年間有効。70歳以上は入会金無料（要証明書）。

〈講師紹介〉 みやた・たろう 古街道研究家、古代遺跡研究家 総務省地域力創造アドバイザー、歴史古街道団団長、(株)歴史シアター・ジャパン代表。古街道遺跡地帯である多摩丘陵を手始めに関東・全国・南西諸島、アジア諸国を結ぶ道、古代から中世の未知の遺跡を独自の手法で実地踏査。「旅」や「現地探索ウォーク」の形で紹介。鎌倉街道や中世の山城、古代遺跡など数多くの遺跡を発見。現在NHKラジオ深夜便「いにしへの道を訪ねて」レギュラー出演中。「すべての文化と遺跡は“道”をたどって誕生した」が信念。考古学的手法を加えた現地踏査手法『古街道学』を提唱。日本フットパス協会理事として遺跡の保護と活用、「道と遺跡と歴史ストーリー」を活かした地域活性で活躍中。



\*講師の病気や、受講者が一定数に達しない場合は、講座を延期または中止する場合があります。

\*手続きの際にご記入いただく皆様の個人情報は受講連絡やお知らせ・講座企画の内部資料として使わせていただきます。

お申込み・お問合せは朝日カルチャーセンター 朝日 JTB・交流文化塾/湘南教室まで

【電話】0466-24-2255 10:00~18:00（日・祝除く）

【インターネット】<http://www.asahiculture.jp/shonan>

【窓口】ルミネ藤沢店 9階 9:30~19:00（日・祝除く）